

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	交付対象事業の名称	事業内容（目的・効果）	事業の対象	事業実施状況	成果目標	効果・評価 今後の方向性	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金 等	一般財源	担当課
1	隔離施設整備事業	医療体制の脆弱な本村は、各地区に診療所を設置し、看護師2名体制（医師は村内診療所を巡回）である。現在は、村内へ新型コロナウイルスを持ち込まないよう対策を講じているが、離島である本村に感染者が発生した場合に隔離できる施設の改修を実施する。また観光客の受入を5月から始めており、濃厚接触者等を考えると隔離施設に限界があり、さらに隔離施設を整備する。	村民・観光客等	隔離施設改修工事 硫黄島① 設計監理委託:1,452,000円 工事:14,982,000円 硫黄島② 工事:2,420,000円	各地域に隔離施設1～2棟を整備	隔離施設を整備し、感染拡大防止につなげられる環境を整備することができた。今後も隔離施設を活用し、感染拡大防止に努める。	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4	R5.3	18,854	18,854			経済課
2	テレワーク環境等整備事業	新型コロナウイルス感染症対策として、庁舎内の密を回避し「新しい生活様式」に対応した業務体制の確保と業務の効率化を図り、オンライン会議やテレワークのためのパソコンを整備し「働き方の新しいスタイル」を構築する。	役場職員	パソコン購入 パソコン 70台分 10,516,000円	庁内のテレワーク環境を整備 各職員 1台ずつ配備	各職員へテレワークのためのパソコンを整備し、「新しい生活様式」に対応した業務体制の確保と業務の効率化を図ることができた。	③-III-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.4	R5.3	10,516	10,516			総務課
3	PCR検査事業	本村は医療体制が脆弱なため、水際対策としてコロナウイルスを持ち込まないよう入島前にPCR検査の確認を行っている。現在、県の無料検査で対応しているが、県の無料検査終了後も引き続きPCR検査や抗原検査を実施できるよう検査キットを整備し、コロナウイルス感染症予防に努める。	村民・役場職員	抗原検査キット @14,234円×194回 PCR検査キット @2,025円×100個	村内におけるコロナウイルス感染者 0%	PCR検査キットを整備し、事前に感染確認を行うことで、島内でのコロナウイルス感染予防に努めた。今後もコロナウイルスを島内へ持ち込まない対策に努める。	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.7	R5.3	2,964	2,964			民生課
4	無線システム普及支援事業費等補助金	コロナ禍において、リモートワークや学校での遠隔授業などインターネットの活用が多くなってきている。また行政区域外に役場を置く特異な村であり、医療の脆弱な島へコロナウイルスをもちこまないようにすると同時に密を回避するため、住民とオンライン会議を行っている状況であり、今後もこのような状況が続くと思われる。しかしながら、通信環境が非常に悪く、オンライン会議や在宅等での利用に支障をきたしているところである。コロナ禍における在宅勤務等の「働き方の新しいスタイル」を構築するとともに、医療や教育等住民生活の利便性向上や地域活性化を図るため、ブロードバンドの高度化整備が急務となっており、できる限り速やかに整備する必要がある。	村民	令和5年度へ繰越	光ファイバケーブル等の伝送専用線機器の更新及び高度化の整備 高度化に向けたブロードバンド整備率 100%		③-III-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.4	R5.3					総務課
5	生活支援給付金	コロナ禍における物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯や子育て世帯へ給付金を支給する。	非課税世帯及び子育て世帯	給付金の支給 非課税世帯 60世帯×50,000円 子育て世帯 子ども57名×50,000円	コロナ禍における物価高騰等に直面する生活者の負担軽減 非課税世帯及び子育て世帯給付100%	コロナ禍における物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯や子育て世帯すべてに給付金を支給し、経済的に支援することができた。	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.6	R5.3	5,850	5,850			民生課
6	水道料金補助事業	本村は小規模離島であり、本土で購入できる物価等に移送費等が追加され、通常でも本土より高い状況である。加えて、コロナ禍でさらなる物価高騰の影響を受けており、住民及び宿泊事業者等への水道料金の負担軽減を図る。	村民	水道料金の基本料金の免除(簡易水道事業特別会計へ繰出) φ13 213個×1,113円/2月×5 11個×1,113円/2月 5個×556円/1月 φ20 11個×1,656円/2月×5 φ25 6個×2,389円/2月×5 φ40 4個×6,820円/2月×5 計 1,499,518円(税抜1,363,198円)	コロナ禍における物価高騰の影響を受けた住民及び宿泊事業者の水道料金(基本料金)免除 免除を受ける住民及び宿泊事業者100%	コロナ禍における物価高騰の影響を受けた住民及び宿泊事業者の水道料金(基本料金)免除し、経済的に支援することができた。	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.6	R5.3	1,363	1,363			民生課

No	交付対象事業の名称	事業内容（目的・効果）	事業の対象	事業実施状況	成果目標	効果・評価 今後の方向性	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金 等	一般財源	担当課
7	浄化槽使用料 金補助事業	本村は小規模離島であり、本土で購入できる物価等に移送費等が追加され、通常でも本土より高い状況である。加えて、コロナ禍でさらなる物価高騰の影響を受けており、コロナ禍における物価高騰の影響を受けた住民及び宿泊事業者等への浄化槽使用料金の負担軽減を図る。	村民・宿泊事業者等	浄化槽使用料金の減免にかかる費用 5人槽① 18基×2,970円/月×6月 5人槽② 152基×3,888円/月×6月 1基×3,888円/月×4月 1基×3,888円/月×3月 7人槽 1基×4,644円/月×6月 10人槽 6基×5,940円/月×6月 15人槽 6基×7,236円/月×6月 21人槽 2基×8,532円/月×6月	コロナ禍における物価高騰の影響を受けた住民及び宿泊事業者の浄化槽使用料免除 免除を受ける住民及び宿泊事業者 100%	コロナ禍における物価高騰の影響を受けた住民及び宿泊事業者の浄化槽使用料免除し、経済的に支援することができた。	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.7	R5.3	4,498	4,498			民生課
8	生活支援給付金(低所得者) (R4重点交付金分)	コロナ禍におけるエネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けている低所得世帯(世帯所得3,000千円未満 住民税非課税世帯を除く)へ給付金を支給する。	低所得世帯	給付金の支給 低所得世帯 60世帯×50,000円	コロナ禍におけるエネルギーや食料品等の物価高騰等に直面する生活者の負担軽減 低所得世帯給付 100%	コロナ禍におけるエネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けている低所得世帯(世帯所得3,000千円未満 住民税非課税世帯を除く)へ給付金を支給し、経済的に支援することができた。	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10	R5.4以降	3,000	3,000			総務課
9	しおかぜ留学生 生感染確認事業	医療体制の脆弱な地域のため、新型コロナウイルスを持ち込まないよう対策を講じているところである。県内外から受け入れているしおかぜ留学生の長期休暇終了後、帰島する前の新型コロナウイルス感染確認のための滞在費用、並びにPCR検査受診を補助する。	しおかぜ留学生 20名 及び保護者	感染予防のためのアルコール消毒液 62,208円 抗原検査キット等 56,936円 PCR検査受検料補助金 6件 21,200円	クラスター発生 0%	村外からのしおかぜ留学生が帰島する際に未然にコロナウイルスを持ち込まないよう感染確認等を実施することができた。コロナウイルスを島内へ持ち込まない対策に努める。	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4	R5.3	140	140			教育委員会
10	フェリーみしま 感染対策事業	離島である本村において、フェリーは住民の唯一の交通手段である。住民はもちろん観光客も利用するフェリーであり、令和3年に抗菌作業を実施したが、新型コロナウイルス感染を防ぐため空間噴霧装置を活用する。	フェリーみしま利用者	銀イオン水10,450円/20L×13=135,850円 9,350円/20L×50=467,500円	村内におけるコロナウイルス感染者 0%	フェリー内での感染防止のため空間噴霧装置を活用した。 今後もフェリー内での感染拡大防止に努める。	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4	R5.3	603	603			総務課